



名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

平成30年 初夏号

肝臓疾患センターの整備に向けて 名鉄病院消化器外科の紹介 肝疾患の診断と治療のご紹介



撮影:予防接種センター 谷口 恵

4月の年度始めに、複数科で人事異動に伴う医師の交代がありました。更に嬉しい事に人事異動による交代の他、外科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、泌尿器科では、名鉄病院でのcareer upを目指し、7名の医師が新たに赴任いたしました。このニュースレターで新任医師の紹介がありますが、これらの優秀な医師が地域医療の中でしっかりと貢献できると確信しております。特に黒川先生には、「肝臓疾患センター」をこの名鉄病院で整備していただく様お願いしております。

さて、5月に入り、各施設とも診療報酬改定が自院にどの様に影響するか判明した頃かと思いますが、新専門医制度や来年10月の消費増税など病院を取り巻く環境は益々厳しくなってまいります。この様な中、名鉄病院はこれまで通り救急を始め、地域の先生方また患者さんに寄り添った安心・安全な診療を心がけてまいります。今後もよろしくご指導のほどお願い申し上げます。



名鉄病院
病院長
細井 延行





肝臓疾患センターの整備に向けて

名鉄病院は地域住民のみなさんと地域で診療にあたる先生方のお役に立てるよう、救急を含めて幅広い疾患に対応できるよう、これまでハード・ソフト両面の整備に力を注いきました。その一方で、最近では、専門性の高い領域で病院の特徴を出していこうという取り組みも進めています。ウロギネセンター、関節鏡センターの設置や、手術用ロボットda Vinciの導入もその一環です。これ以外にもいくつかの領域で今後新しい取り組みを行っていく構想を持っています。



肝臓疾患センター長
黒川 剛

さて、当院の消化器疾患の診療では、消化器内科医と消化器外科医が協調して、消化管・肝胆膵領域のすべての領域の診断と治療を行ってきました。消化器の中で肝疾患に関しては、診断から治療に至るまで他の消化器疾患とは趣を異にする面があります。たとえば、肝癌の治療では、ラジオ波焼灼療法(RFA)、肝動脈塞栓術(TACE)、肝切除術の3者から選択でき、さらには肝移植も選択肢のひとつです。まさに患者さんの条件に合うオーダーメード治療が可能になります。また、外科治療ではこれまでの開腹手術に加え、腹腔鏡下肝切除や腹腔鏡を応用したラジオ波焼灼術など新しい低侵襲治療が普及し始めています。

当院では、肝移植が必要な患者さんは大学病院に紹介しますが、それ以外の肝癌治療のすべてが対応可能です。とくに腹腔鏡を用いた低侵襲治療を積極的に実施しています。また、肝硬変の合併症である食道胃静脈瘤についても、内視鏡治療、インターベンショナルラジオロジー(IVR)、外科治療までカバーしています。今後は治療に難渋されている先生方も多いと思われる、難治性腹水の濾過濃縮再静注(CART)も積極的に行っていきたいと思います。

一方、先生方よくご存じのとおり、最近のウイルス性肝炎(特にC型肝炎)治療の進歩には目を見張るものがあります。当院には複数の肝臓学会専門医が在籍しておりますので、ウイルス性肝炎の治療もこれまで以上に実施していきたいと思っています。肝疾患患者さんの診断と治療に当院を利用していただければ幸いです。



名鉄病院消化器外科の紹介

名鉄病院消化器外科について紹介させていただきます。平成30年4月より3名の消化器専門医が加わり常勤外科医師が7名となりました。食道・胃・大腸・肝臓・胆道・脾臓などの悪性疾患の他に、胆石症・鼠径ヘルニア・痔核などの良性疾患、虫垂炎・胆囊炎・腸閉塞・腹部外傷、などの救急疾患まで、消化器領域のほとんど全ての手術に於いて、今まで以上に質の高い、手術を中心とした医療を提供することが可能となりました。



副院長（消化器外科）
小林 裕幸

当科は以下の4点を重視した診療に心がけています。

①個性を尊重した患者さん中心の医療

当科では患者さんに対して手術の前に十分な時間を掛け、治療方法の種類、それぞれの治療方法のメリット・デメリット、治療期間などについて納得いくまで説明を行なっています。患者さん本人が自分の価値観などを考慮した上で治療方法を選択することができます。意思決定支援、アドバンスケアプランニング、リビングウィル（事前指示書）作成などについて、専門（認定）看護師とともに積極的に進めています。

②専門的で継続性のある医療

当科は経験豊富な医師が揃っており、高難度手術と呼ばれる、より高度で専門的な手術も多く手掛けています。近年、胃・大腸などの消化管手術はもとより、肝癌に対する肝切除術においても、腹腔鏡下手術の比率が非常に上がってきました。腹腔鏡下脾体尾部切除術も行っています。また、消化器専門医が、術前の診断の時点から消化器内科医と連携して関わり、手術の執刀、退院後の外来通院に至るまで継続的に診療にあたっています。また、癌の再発に対しては、化学療法と並行して緩和ケアも、緩和ケアサポートチームと連携して積極的に行っていきます。

③院内他科医師との連携

最近は高齢化が進み、脳血管障害・心臓疾患・糖尿病・認知症などの疾患を合併した患者さんが非常に増えてきました。関連のある医師と連携して診療に当たることで、患者さんが安全で安心して手術が受けられるように努めています。

④迅速な医療

当科は消化器内科医や、紹介元の診療所の先生方との連携も密にしており、初診時から手術まで、手術から退院までの期間をできるだけ短くなるように努めています。また、近年当院は救急搬送受け入れ台数が非常に増加しています。当科は緊急手術に対しても即座に対応できる24時間体制を整えています。

以上簡単ですが当院消化器外科の特徴を紹介させていただきました。これからも患者さんやご家族の方々に満足していただける良質な医療を提供していきたいと考えています。消化器疾患の患者さんを当院へ紹介いただけると幸いです。よろしくお願い申し上げます。

肝疾患の診断と治療のご紹介

消化器内科では肝疾患としてウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎といった自己免疫性肝疾患、生活習慣病ともいえる非アルコール性脂肪肝、肝細胞癌などを対象に診療を行っています。今回はC型肝炎、B型肝炎、肝癌の診断と治療についてご紹介させていただきます。



消化器内科部長
西尾 雄司

C型肝炎について

C型肝炎は徐々に進行し、慢性肝炎から肝硬変、肝癌へと進展することが特徴です。C型肝炎が進行(線維化)すると血小板は減少し、肝癌が発症する割合が高くなることがわかっています(図1)。C型肝炎治療の目標は肝硬変・肝不全への進行を抑制し、肝癌の発症を阻止することです。そのためには、C型肝炎ウイルスを体内から排除することが重要となります。C型肝炎治療は近年新しい薬が次々と登場して大いに進歩しました。現在は8週または12週の経口薬(直接作用型抗ウイルス薬)による治療で95%前後のウイルス排除が可能になっています。

以前のインターフェロンを用いた治療と比較して副作用も軽減し高齢な方でも治療可能です。肝機能が正常な方でも検査をすると肝臓の線維化が進んでおり、肝癌を合併する方もいます。C型肝炎の方は肝機能異常の有無に関わらず、ぜひ一度ご紹介お願いします。特に血小板が減少している方は要注意です。

肝線維化	10年肝癌合併率	血小板数
軽度	5%	15~18万
中等度	15%	13~15万
高度	30%	10~13万
肝硬変	70%	10万以下

図1 肝線維化と肝癌合併率・血小板数

B型肝炎について

B型慢性肝炎はC型肝炎と比較して発癌率は低いものの肝線維化の進行していない例でも肝癌を合併することがあり注意が必要です。当院ではガイドラインに従い核酸アナログ製剤やインターフェロン等の治療を積極的に行っております。

肝癌について

肝疾患は肝癌発症の危険度に応じて3~6ヶ月毎に腫瘍マーカー・画像診断によるサーベイランスが推奨されています。当院ではダイナミックCT、EOB-MRI、超音波検査等の画像検査、血液検査を行い、早期診断に努めています。特に造影超音波検査を積極的に施行しており、その検査件数は県内でもベスト3に入るまでになりました。超音波造影剤はCTやMRI検査に使用する造影剤とは異なり腎機能の低下している患者さんにも使用することができます。また、超音波検査の分解能はCTやMRIよりも小さいため、より早期の腫瘍を発見することができます。ウイルス性肝炎に限らず脂肪肝の方でも血小板やアルブミンの減少しているような線維化の進展が疑われる方は肝癌発症のリスクが高く、画像検査によるサーベイランスが必要ですので当院を利用していただければ幸いです。

今後とも患者さんに最善・最良の医療を安全に提供するように努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介

肝臓疾患
センター長
黒川 剛



新設の肝臓疾患センターに赴任しました。名大第二外科、愛知医大消外科、京大移植外科で都合25年間臨床と研究に従事してきました。どんな患者さんでも紹介いただければ誠心誠意対応しますのでよろしくお願ひします。

リハビリテーション科
医師
伊藤 奈緒子



4月から赴任しました。元々神経内科で脳卒中診療、神経救急を得意としておりましたが、昨年よりリハビリテーション科に転向しました。リハ医学的見地から皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願ひします。

泌尿器科
医師
花井 一旭



4月より赴任しました花井一旭と申します。まだまだ不慣れなことも多くご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、なるべく早く皆様や患者さんの力になれるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願ひします。

外科
部長
中山 裕史



4月より、赴任しました外科の中山です。一般外科・消化管が専門です。趣味は剣道で、週に一度は道場通いしています。剣道をされる方が見えたならぜひ声をかけてください。色々、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

外科
部長
鳥居 康二



4月に赴任してまいりました。地域のみなさまのお役に立てるよう、微力ながら精進してまいります。よろしくお願ひします。

神経内科
医長
高橋 美江



神経内科の高橋美江と申します。静岡県の中東遠総合医療センターに勤務していました。環境の変化に戸惑いつつも、名鉄病院の皆さんに明るさに仕事への意欲を頂いています。どうぞよろしくお願ひいたします。

整形外科
医師
大久保 徳雄



整形7年目の大久保徳雄といいます。ゴールデンウィーク過ぎましたが、至らぬ点も多く外来、オペ室、病棟の皆様にご迷惑をかけております。精進してまいりますのでご指導・ご鞭撻よろしくお願ひします。

整形外科
医師
焼田 有希恵



4月より赴任となりました整形外科の焼田です。まだまだ不慣れでご迷惑をおかけするかもしれません、少しでも早く皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

小児科
医師
稗田 芙蓉太



一昨年勤務しておりました小児科のひえだです。お世話になった先生方、スタッフの皆さんとまた一緒に働くことができ大変嬉しく思っています。どうぞ宜しくお願ひいたします。

研修管理室
井岡 大河



今年度よりお世話になります。かねてより希望していた名鉄病院にて研修できることを大変嬉しく思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願ひいたします。

研修管理室
景山 創



4月より初期研修医として働かせて頂くことになりました、景山創と申します。至らない点が多く、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、社会に貢献できるよう邁進していく所存です。よろしくお願ひいたします。

研修管理室
木村 友哉



本年度より初期研修医として働かせて頂く、木村友哉です。患者さんに寄り添う医療が提供できるように、日々勉強していきたいと思います。まだわからぬ事だらけでご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

研修管理室
森 朋代



初めまして。今年度より初期研修医としてお世話になります、森朋代です。まだまだ未熟者ですが、初期研修の2年間では様々な症例を通して、成長して行きたいです。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

新しい白衣の新人看護師の紹介



4月に入職した新人看護師31名です。ちょうど4月にリニューアルしたばかりの白衣を身に着けて、社会人として看護師として、患者さんに寄り添ったケアを目指して頑張ります。新しい制服は、先輩の声を取り入れながら、伝統的な白色は変更せず、丸い襟と腕のラインがポイントの軽快な白衣で働きやすいです。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 052-551-6121(代表)

経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- | | | | | |
|--------|--------|-------------|--------|--------|
| ●内科 | ●循環器内科 | ●腎臓内科 | ●消化器内科 | ●呼吸器内科 |
| ●神経内科 | ●血液内科 | ●内分泌・代謝内科 | ●小児科 | ●外科 |
| ●消化器外科 | ●整形外科 | ●リハビリテーション科 | ●脳神経外科 | ●婦人科 |
| ●皮膚科 | ●泌尿器科 | ●女性泌尿器科 | ●耳鼻咽喉科 | ●眼科 |
| ●麻酔科 | ●放射線科 | ●病理診断科 | | |

診療センター

- | | | |
|-----------|-------------------|-----------|
| ●内視鏡センター | ●認知症疾患医療センター | ●糖尿病センター |
| ●肝臓疾患センター | ●関節鏡・スポーツ整形外科センター | ●ウロギネセンター |
| ●予防接種センター | ●健診センター | |

専門外来

※予約制（一部を除く）

- | | |
|------------------|------------|
| ●禁煙外来 | ●リウマチ膠原病内科 |
| ●ASO外来 | ●ペースメーカー外来 |
| ●シルバークリニック | ●インスリン導入外来 |
| ●糖尿病透析予防外来 | ●フットケア外来 |
| ●小児慢性疾患外来 | ●乳腺外来 |
| ●関節鏡外来 | ●スポーツ外来 |
| ●小児整形外来(月1回・不定期) | ●女性泌尿器科外来 |
| | ●音声外来ほか |



1号館前の名鉄病院(地上)駐車場の平日7時～17時の利用で、来院・お見舞いの方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引認証を受けてください。



病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711